

Page Life

水の中は人が生きていけない世界で、その意味において「死」に近い。暗闇に包まれる夜ともなればなおさらだ。夜釣りの経験がある人なら、誰もそんな気配に身震いしたことがあるだろう。

小学生のころ、兵庫県の尼崎市立魚つり公園で日没を迎えた僕は、仕掛けを沈めたさおを棧橋に置いたまま、父と海を眺めていた。すると突然、

「あつ」と叫んで懐中電灯を向けると、お気に入りのさおが波に揺られている。どうしようかとろうたえているうちに、さおはすうっと濁った水の中へ消えていった。大切なさおを海に落とし



● 40 ● (長嶋祐成)

「死の世界」を見たさお

水底からの使者マアナゴ



すしや白焼きでなじみ深いマアナゴは、夜釣りでも釣れる人気の魚だ

て、自分の一部を失ったかのように感じた。予備のさおで釣りを再開したけれど、やはり元気が出ない。

そのうち、父のさおに魚が掛かった。上がったのはマアナゴで、大暴れして仕掛けがぐちゃぐちゃに絡まっていた。

波面の父の手元をのぞき込むと、アナゴの口から父の仕掛けとは別に、もう一本糸が出ていた。その先は海の方へ続いていた。糸の色にハッとして手練り寄せると、果たしてさっき沈んだ僕のさおがゆっくりと海面に浮かび上がった。



介護付き有料老人ホームでVRを体験する入居者ら。そばにいるサポートスタッフと見えている映像の話で盛り上がる＝埼玉県草加市

「快適な空の旅をお楽しみください」。『離陸後』に客室乗務員役のスタッフに配られた専用ゴーグルを装着すると、目の前にイタリアの景色が広がった。ゴンドラに揺られ、きらめく水面から視線を上げると、両端の建物に四角く切り取られたベネチアの空がのぞく。行き交う人々のにぎわいが耳に心地よく、自然と旅情が湧いてくる。

東京・池袋にある「FIRST AIR LINES」は、フランスやハワイなど8地域の海外旅行が2時間で疑似体験できる。飛行機の機内を模した室内には、ファーストクラス用のシートが並び、VRを活用した旅先ごとのツアー体験や、それぞれをイメージした機内食が提供される。

「実際の旅より短い時間で濃い体験ができる」と代表の阿部宏晃さん。客の半数が50歳以上だという。「時間やお金、体力などの理由で、海外

眼前に別世界

体感・体験

まるで別の場所にいるかのような非日常体験が、手軽に味わえる仮想現実(VR)。その特性を生かした「旅行体験」に注目が集まっている。

VRで「仮想旅行」



「FIRST AIR LINES」でVR体験を楽しむ利用者＝東京都豊島区

高齢者利用で広がる可能性

旅行に行けないという方々がニケーションにつながる」と利用してくれるのではないかと分析する。

外出が難しい高齢者に思いの地や観光地を巡る「仮想旅行」を体験してもらう活動も注目を集める。元介護職で東京大先端科学技術研究センター・稲見・榎山研究室の登嶋健太さんは、介護施設の入居者らに楽しんでもらいながら、VR体験が心や身体に与える影響を研究している。

「海の中に入ってる!」。

埼玉県草加市の介護付き有料老人ホームで4月に行われた体験会では、思いがけない光景に驚いた入居者らはゴーグルの先を指さし、車いす上で体を左右に大きく動かす。体験後は、VRで見た景色を元にサポートスタッフとの会話も弾む。

「VRは時間と空間を超えてられる。テレビと違い、見る側が体を動かしながら、能動的に見ることができ、コミュニケーションがとれる。今後は元氣なシニアがカメラマンや体験会のサポートスタッフとして参加できる仕組みも構築し、事業化を進める。」

旅行会社も活用し出す。大手のエイチ・アイ・エスター・稲見・榎山研究室の登嶋健太さんは、ホテルの客室や眺望を事前に確認できるVRを導入している。実際の旅行とのギャップが少なく、クレームも減ったという。

「ANAセールズ」は専用カメラとゴーグルのレンタルサービスを始めた。旅先で撮ったVR画像を、自宅などに残った人に見てもらいながら、ビデオ通話できる。モニターの先で、仕事や急病で旅行に行けなくなった家族や仲間とゴーグルを渡し、旅先で一緒に「飲み会や会話をしている」ように見える。旅行の楽しみ方がますます広がる。



「ANA VIRTUAL TRIP」で専用ゴーグルを見た際のイメージ。右下の枠にビデオ通話の様子が映し出され、会話ができる(©ANAセールズ)

6月に室内楽の祭典 サントリー

る室内楽の祭典

ig する!